

## (20) 草 心 苑



所在地	〒960-8105 福島市仲間町3-21 TEL 573-5061		
交通機関	福島交通バス：市内循環「上町」「新浜公園」徒歩5分		
設置年月日	昭和62年10月1日	建設年月日	昭和62年6月25日
面積と構造	(建物)266.68㎡ (構造)木造モルタル		
開館時間	午前9時30分～午後8時30分		
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)		
施設概要	1階 一号室・二号室・茶室 2階 三～五号室		

### <施設の概要>

草心苑は、茶道、華道、謡曲など日本古来の伝統的文化の普及振興と同好者の語らいの場として、故山田英二氏が建築した施設です。

氏の亡きあと、意志を継いだ富美夫人から、市民の文化振興と向上を願い、市に寄贈された施設で、気軽に研修・研さんの場として利用できます。

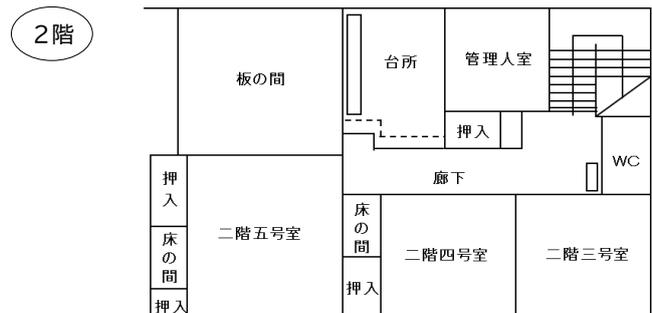
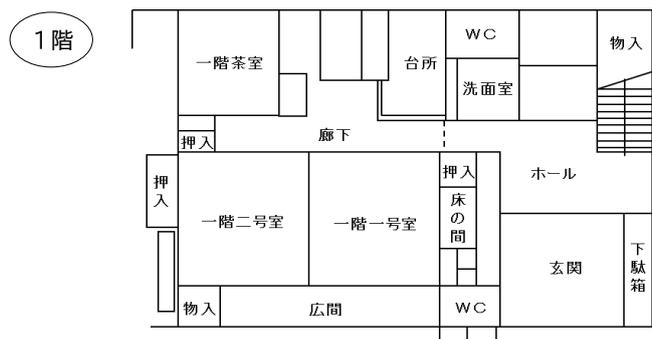
### <使用料>

室 名	使用料(1回)
1階 一号室	600 円
二号室	600 円
茶 室	600 円
2階 三号室	600 円
四号室	600 円
五号室	1,200 円

### <使用時間の単位(3時間)>

午 前 の 部	9:30 ~ 12:30
午 後 の 部	13:30 ~ 16:30
夜 間 の 部	17:30 ~ 20:30

### 平面図



### 案内図



## (21) 古関裕而記念館



所在地	〒960-8117 福島市入江町1-1 TEL 531-3012		
交通機関	福島交通バス：保原・梁川行「日赤前」より 徒歩3分、 メロディーバス「古関裕而記念館前・音楽堂」 より徒歩1分		
設置年月日	昭和63年10月1日	建設年月日	昭和63年6月30日
面積と構造	(建物)656.60㎡ (構造)鉄筋コンクリート2階建		
開館時間	午前9時～午後5時	入館料	一般 300円 (団体240円) 小中学生100円 (団体 80円)
休館日	年末年始 (12月29日～1月3日)、臨時休館日 (年3回)		
開館	昭和63年11月12日 (令和3年3月13日リニューアルオープン)		

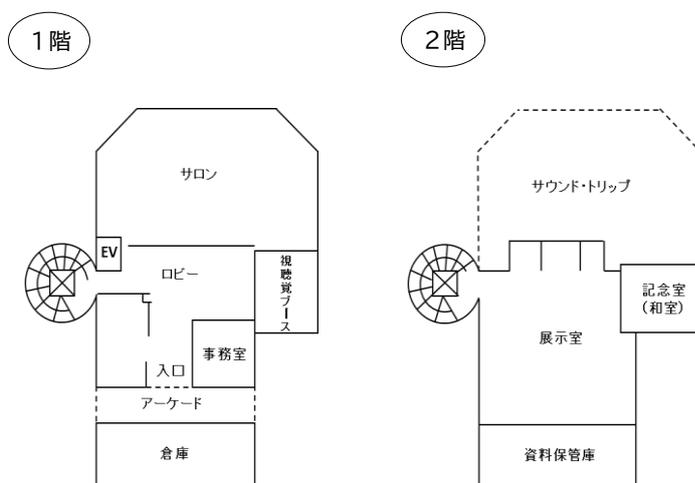
### 〈施設の概要〉

古関裕而記念館は、福島市出身の偉大な作曲家で、名誉市民第一号である古関裕而氏を称え、後世にその業績と古関メロディーを広く継承し、本市音楽文化の振興に資するため、市制施行80周年記念事業として昭和63年にオープンしました。

1階には、サロン視聴覚ブース、物販コーナーなどがあり、館内に流れる古関メロディーや大きなガラス窓から見える並木が、くつろぎの気分を演出しています。

また、2階の展示室では、写真パネルや直筆の楽譜・色紙等、数々の貴重な歴史的資料が展示されています。さらに、立体音響を用いたブースを導入しており、古関氏の魅力やメロディーを堪能していただける施設となっています。

### 平面図



### 案内図



(22) ふくしん夢の音楽堂  
(福島市音楽堂)



所在地	〒960-8117 福島市入江町1-1 TEL 531-6221		
交通機関	福島交通バス：保原・梁川行「日赤前」より徒歩3分、 メロディーバス「古閑裕而記念館前・音楽堂」より徒歩1分		
設置年月日	昭和59年4月1日	建設年月日	昭和59年3月20日
面積と構造	(建物)6,023,48㎡ (構造)鉄骨鉄筋コンクリート3階建		
開館時間	午前9時～午後9時		
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)		
施設概要	○大ホール 固定席1,002席、車椅子5席 ○小ホール 200席 ○大練習室 1室、中練習室 2室、小練習室 4室 ○楽屋 2室 ○主催事務室 1室 ○資料室 1室		
開館	昭和59年7月4日		

〈施設の概要〉

音楽堂は、市民文化芸術の殿堂として、大ホールや小ホール、楽屋、練習室などを備え、鑑賞やコンサートはもちろん、音楽団体や学校などの発表会などにも積極的活用を図り、市民音楽文化の向上と情操のかん養に資することを目的として、昭和59年に開館しました。

大ホールは、約1,000名収容の客席とデンマーク・マルクーセン&サンズ社製のパイプオルガンを備え、音響効果最優先のコンサートホールとして設計されています。

また、200名が収容可能な小ホールと7つの練習室を備え、音楽のみでなく演劇や発表会など小規模な催し事など、多目的な利用が可能な施設となっています。

〔案内図〕



〈令和6年度 事業計画〉

日 程	事業名
7月20日(土)	心ふれあい音楽鑑賞教室 夏休み!オーケストラ わくわくコンサート♪
8月3日(土) 4日(日)	夏休み親子で体験教室 「見て・聴いて・さわって作ろう♪パイプオルガン」
8月11日(日)	古閑裕而記念音楽祭2024
8月30日(金)	福島市音楽堂開館40周年記念事業 NHK交響楽団
9月23日(月・振)	ふれあいオペラコンサート2024
10月27日(日)	古閑裕而のまち「ふくしま チェンバー・オーケストラ」コンサート 10月公演
11月17日(日)	古閑裕而のまち「ふくしま チェンバー・オーケストラ」コンサート 11月公演
12月22日(日)	古閑裕而のまち「ふくしま チェンバー・オーケストラ」パイプオルガン・クリスマスコンサート
1月12日(日)	ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ ニューイヤーコンサート
3月2日(日)	古閑裕而のまち「ふくしま チェンバー・オーケストラ」コンサート 3月公演
年6回	パイプオルガン講習会 R6：5/11(土)、7/15(月・祝)、9/16(月・祝)、11/23(土・祝) R7：1/26(日)、3/16(日)

## (23) 福島市民家園



所在地	〒960-2155 福島市上名倉字大石前地内 「あづま総合運動公園」内 TEL 593-5249
交通機関	福島交通バス、佐原行「室石（むろいし）」付近下車 ＝自由乗降区間徒歩15分＝
設置年月日	昭和57年8月1日
設置内容	復原民家等8棟、芝居小屋、板倉2棟、展示館、休憩棟、橋銭小屋、ばったら小屋、火の見櫓等
開館時間	午前9時～午後4時30分
入場料	無料
休園日	毎週火曜日(火が祝日の場合は翌平日) 12月29日～1月3日

### 〈施設の概要〉

福島市民家園は、市街地の西方約10kmにある「あづま総合運動公園」の一画に、昭和57年8月開園しました。

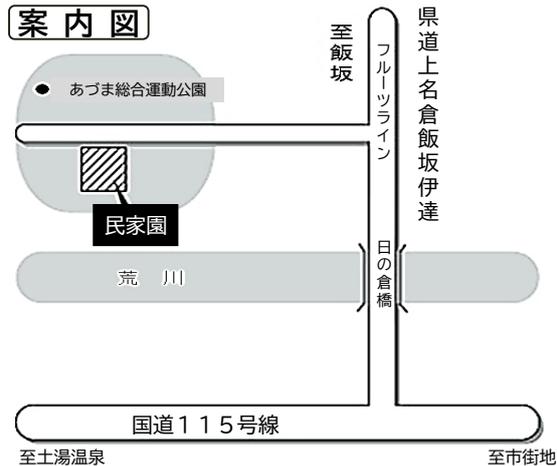
園内には、江戸・明治時代の農家や宿店、芝居小屋、料亭など10棟が移築復原されており、板倉や橋銭小屋、便所・風呂場、井戸なども復原または複製されていて、当時の人々のくらしをうかがい知ることができます。

また、四季折々には、時節にあった各種年中行事を再現し、来園者に〈先祖のくらし〉を身近に感じていただけるような行事を開催しています。園内にある明治時代の芝居小屋「旧広瀬座」では、現在でも大衆娯楽として催しが開催されていました。（現在は再整備のため工事中）

### 【園内の復原民家等】

- 旧奈良輪家住宅（上層農家）  
県指定重要文化財  
寄棟造、かやぶき、平屋建、平面積165.9㎡  
旧所在地＝山田字城裏口35
- 旧菅野家住宅（一般農家）  
県指定重要文化財  
寄棟造、かやぶき、平屋建、平面積84.94㎡  
旧所在地＝松川町字熊ノ田4
- 旧阿部家住宅（一般農家）  
県指定重要文化財  
寄棟造、かやぶき、平屋建、平面積68.91㎡  
旧所在地＝大笹生字安養寺44
- 旧小野家住宅（養蚕農家）  
市指定有形文化財  
半切妻造（あづま）、かやぶき、中二階建、平面積337.7㎡  
旧所在地＝伊達郡伊達町大字伏黒字南屋敷17
- 旧算家宿店  
市指定有形文化財  
寄棟造、かやぶき、中二階建、平面積109.64㎡  
旧所在地＝上鳥渡字観音寺14
- 旧渡辺家住宅（上層農家）  
市指定有形文化財  
寄棟造、かやぶき、平屋建、平面積175.8㎡  
旧所在地＝上名倉字吉内13
- 元客自軒（料亭）  
市指定有形文化財  
北棟：寄棟造、杉こばぶき、二階建、平面積14.94㎡  
東棟：切妻造、杉こばぶき、平屋建、平面積75.07㎡  
旧所在地＝北町3-33
- 旧広瀬座（芝居小屋）  
国指定重要文化財  
入母屋造、杉こばぶき、一部二階建、平面積785.52㎡  
旧所在地＝伊達郡梁川町字北本町7-1
- 旧馬場家住宅（上層農家）  
市指定有形文化財  
寄棟造、かやぶき、平屋建（一部中二階）、平面積200.8㎡  
旧所在地＝南会津郡南郷村宮床字居平528

### 案内図



- 旧佐久間家板倉（穀倉）  
市指定有形民俗文化財  
栗こばぶき、平屋建、平面積24.19㎡  
旧所在地＝佐倉下字加藤7

### 〈年間行事〉

月	年中行事	実演・体験行事
5	・端午の節句 ・田おこし ・田植え	・糸取り体験、機織りの実演
6	・むけの朔日	・子どもの遊び ・裂き織り体験
7	・たなばた	・昔のくらし
8	・盆の行事	
9	・おつきみ	・わら細工 （「バコぞうり」づくり）
10	・稲刈り、脱穀 ・収穫祭 ・子ども秋まつり	
12	・正月迎え	・わら細工 （しめ縄づくり）
1	・小正月	
2	・節分	
3	・桃の節句	

## (24) 郷土史料室



### 〈施設の概要〉

郷土史料室は、福島藩主板倉家を中心とした江戸時代の資料や、個人から寄贈された民俗資料・郵政資料を中心に収蔵しています。

また、年に4回程度の出張展示や、市内各地域の団体などで文化財の保護や啓発を行うことのできる人材を養成する「歴史人材養成講座」などを開催しています。

### 【収蔵資料】

1. 宮内富貴夫氏寄贈資料  
燈火資料、時計資料、貨幣資料、風俗資料、交通・通信資料、音楽資料、教育資料、政治資料、産業資料等
2. 金子一郎氏寄贈資料  
郵便資料  
(郵便の歴史、郵便切手、趣味の郵便)
3. 板倉神社寄託資料  
市指定有形文化財 板倉神社所蔵資料ならびに什物102点
4. 市に寄贈・寄託された歴史・民俗・考古資料

### 案内図



所在地	〒960-8228 福島市松山町39番地の1 TEL 563-7858		
交通機関	「伊達方面」「月の輪台方面」行き 「岩谷下」徒歩3分		
設置年月日	昭和54年7月23日	面積	1.065.27㎡
休館日	・毎週土曜日・日曜日 ・祝日 ・年末年始(12月29日～1月3日)		

### 【歴史人材養成講座の案内】

開催月	講座名
5月	講座「福島の歴史と文化」
6月	講座「福島の偉人、歴史上の人物、有名人と歴史的背景」※公開講座
7月	講座「信夫山の歴史と文化」
8月	講座「西久保遺跡出土木簡を読み解く」※公開講座
9月	講座「福島の文化財」※公開講座
10月	フィールドワーク「城下町を歩こう」(2回開催)※第2回目は公開講座
11月	フィールドワーク「飯坂の史跡と文化財巡り」
12月	講座「福島の縄文文化・じょーもびあ宮畑見学」
1月	講座「福島市の成り立ち-藩から町、そして市へ-」※公開講座
2月	講座「ふくしまの養蚕」※公開講座

### 【出張展示の案内】

開催月	展示名
5月	「写真展 ふくしまの橋～福島の石橋群・信夫橋・十綱橋・松齢橋～」
7月	「昔の暮らしと道具展」
9月	「写真展 根子町人形」
11月	「南奥文化博物館の思い出～創設70周年記念」

### 【庁舎展示の案内】

開催月	展示名
4月～8月	「昭和の福島写真館」
9月～3月	「ふくしまの石仏と石造物」

(25) 写真美術館(花の写真館)



所在地	〒960-8002 福島市森合町11番36号 TEL 563-4990
交通機関	福島交通バス、市内循環線「福高前」徒歩1分 JR福島駅東口より徒歩20分
設置年月日	平成15年4月1日
面積と構造	(建物)654㎡ (構造)石造洋風瓦葺寄棟造
開館時間	午前9時～午後4時30分
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
入館料	無料(但し企画展等観覧料は主催者が定めた料金)
施設概要	(1階)展示室1～4、休憩室、男女・多目的トイレ (2階)事務室、企画展示室、多目的室、旧所長室
その他	令和3年5月29日再開館

〈施設の概要〉

日本を代表する写真家・故秋山庄太郎氏は、花見山の美しさに強く惹かれ、毎年のように撮影に訪れて、「福島には桃源郷がある」という名言とともに花見山の美しい自然を全国に紹介し続けました。

市は秋山氏の功績を称え、平成13年に「ふるさと栄誉賞」を授与し、平成15年に秋山氏の「想い」を象徴する施設として、写真美術館(花の写真館)を開館しました。

その後、写真美術館は東日本震災で被災し、休館を余儀なくされましたが、耐震補強や施設の再整備を実施し、令和3年5月にリニューアルオープンしました。

館内には、文化芸術団体の作品展などが実施可能な「展示室」や、多様な目的で利用可能な「多目的室」などを備え、一般利用者向けの貸し出しも行っています。

今後は、貴重な文化財【※】として建物や収蔵作品の適切な管理に努めるとともに、「文化芸術の発信拠点」として、幅広い利活用が期待されています。

【基本使用料】

室名	使用料
展示室1	一日 4,400円
展示室2	一日 3,400円
展示室3	一日 2,900円
展示室4	一日 2,100円
多目的室	一時間 300円

※その他特別使用料等加算あり。

案内図



【※】文化財としての概要

市有形文化財「旧日本電気計器検定所福島試験所社屋」(平成14年6月17日指定)

写真美術館は、大正11年に当時の逓信省が東北・北海道・樺太(サハリン)地域の管轄を目的とした「電気試験所福島試験所」として開設した建造物です。

県内における大正期建立の建造物としては希少であり、窓やドアに装飾を施した明治建築から機能優先の近代建築への移行期をうかがい知ることができる建物であることなどから、保存意義が大変高い建造物です。

石造りの建造物で柱型を意識するように上部がデザイン化されており、玄関廻りは外壁面から張り出すことで正面性を強調させ、屋根上部まで伸びたパラペット、レリーフ、玄関屋根廻りの意匠などが建物を印象的なものとしています。

(26) 「じょいもん」  
宮畑遺跡史跡公園 体験学習施設



所在地	〒960-8201 福島市岡島字宮田78番地 TEL 573-0015 FAX 573-0016
交通機関	福島交通バス：「月の輪経由保原」「月の輪団地」 「東部支所前 経由月の輪団地」「月の輪経由梁川」 停留所「向鎌田」より徒歩5分
建築年月日	平成27年6月30日
開館日	平成27年8月8日
開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（火曜日が祝日の場合、翌日以降の祝日に当たらない日） 年末年始（12月29日～1月3日） ※春・夏・冬期休業中は毎日開館（年末年始を除く）
施設概要	1階：エントランスホール、 床下剥ぎ取り展示、映像展示室、展示室、 縄文工房、ホール、休憩コーナー、図書コーナー等 2階：休憩ラウンジ、展望デッキ
展示室料	【一般】個人200円、団体 140円（20名以上） 【高校生以下】個人100円、団体 70円（20名以上） ※未就学児及び障がい者は無料
使用料	ホール（3時間）：1,000円 縄文工房（3時間）：1,000円

〈施設の概要〉

「じょいもん」は、市内岡島に整備された宮畑遺跡史跡公園内にある体験学習施設です。

宮畑遺跡は、縄文時代中期・後期・晩期の約二千年間にわたる縄文時代の人々の生活を伝える、南東北を代表する遺跡で、平成15年8月27日に国史跡の指定を受けました。

遺跡を整備した「宮畑遺跡史跡公園（愛称：じょーもぴあ宮畑）」【※】は平成27年にオープンし、園内には、縄文時代の掘立柱（ほったてばしら）建物や竪穴住居などの復元建物、遺構の露出展示などが整備されています。

また、「じょいもん」には、焼けた竪穴住居の床下展示や縄文人の暮らしぶりを展示するほか、弓矢体験などの縄文体験ができる縄文工房も備え、飯坂町東湯野の上岡遺跡から出土された、県内唯一の重要文化財である「しゃがむ土偶」も常設展示されています。

【※】宮畑遺跡史跡公園(じょーもぴあ宮畑)の概要

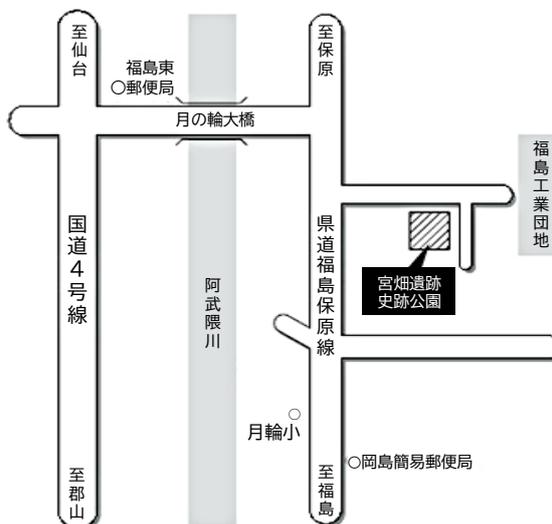
〔北側〕

- ・休憩棟 1棟
- ・炊事棟 1棟
- ・遊具 12基
- ・四阿 2棟
- ・駐車場 60台

〔南側〕

- ・露出展示棟 1棟
- ・掘立柱建物 1棟
- ・竪穴住居 1棟
- ・敷石住居 1基
- ・幼児のお墓 4箇所
- ・四阿 3棟
- ・駐車場 80台

案内図



〈令和6年度 主要事業計画〉

実施日	内容
5月26日(日)	縄文の日 春の陣
11月4日(月・祝)	縄文の日 秋の陣
11月10日(日)	宮畑ウォーク
12月13日(金)～12月15日(日)	ふくぶん ユニークベニユ事業 ナイトミュージアム